

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三三・四七・七二
毎週一回発行

被爆・戦後80年目の夏 第37回豊田市平和を願う戦争展を開催

豊田市平和を願う戦争展実行委員会

8月30、31日の2日間
にわたって、産業文化センタ
ーにて、毎年恒例の「平和を
願う戦争展」を開催し、延べ

820人の参加を得て、盛況
裡に無事に終了できました。

今年は戦後被爆80年目
の節目の年ということ、一
般メディアでも戦争のこと
が多く取り上げられていま
したし、何より、ウクライナ
やガザの戦争の悲惨な状況
が伝えられる中で、多くの
人が胸を痛め、戦争と平和への
関心か少なからず高まって
いるように思えました。

初めての参加という方も
多く、展示をじっと丁寧に熱
心に見てくださっている人
たちの姿が印象的でした。

今年は被爆80年、昨年の
被団協のノーベル平和賞受
賞のことで、展示も催
しも原爆のことに重点をお
いた内容を企画しました。

毎年の「人間と原爆」の写真
はもちろんですが、広島市立
基町高校の生徒が被爆者の



「戦争体験を聞く会」

方の話を聴いて描いた絵の展
示は皆さんに強いインパクト
を与えるものでした。

地元の豊田にあった戦争当
時の出来事も、初めて知った
という方が大勢おられて、あ
らためてこの戦争展開催の意
義を感じました。催しも、多
彩で充実していたと好評でし
た。

恒例の絵本の読み聞かせの
時間には、凄絶な沖縄戦のこ
とを描いた本や、原爆開発の
マンハッタン計画のことを絵
本にしたものなどが朗読さ
れ、この戦争展ならではの時
間が持てたと思います。

ちひろ美術館の松本猛さん
の講演は、「世界中のこどもみ

んなに平和としあわせを」とい
うタイトル通り時宜を得たお
話でした。ちひろさんの絵に込
めた願いは、まさに戦争反対、
何事も平和であってこそ、とい
うものだったことが、皆さんに
伝わりました。

戦争体験を聞く会では、市内
在住の長崎で被爆された方
のお話を直接に聞きたいへん貴
重な機会となりました。

被爆の手記などをもとにし
た朗読劇「この子たちの夏より
抜粋」も、アニメ版「はだしの
ゲン」上映会も、原爆の悲惨さ
をしつかりと伝えるもので、二
度と核兵器を使ってはならな
いという思いを強く促すもの
でした。地元豊田で、戦争の当
時にどんなことかあったかと
いうことも、ここにきて初めて
知ったという方も多くおられ
て、あらためて、この戦争展の
開催意義を確信しました。

草の根の市民の平和への願
いを束ねた「市民による市民の
ための市民の戦争展」という理
念で継続してきたものですが、
今後も継続するためには課題
が山積しています。

豊田市における平和運動の
広がりを作るためにも、ぜひ多
くの方に一緒に考えていた

だきたいと思っています。

協賛金をはじめ、展示設営の
準備や、40℃に迫る暑さの中
での当日のスタッフなど、たく
さんの皆様のご協力ご支援に
心より感謝します。

(追記)豊田市教育委員会に
後援を申請しましたが、憲法改
悪反対をかける団体が実行
委員会になっているので、政治
的中立を欠くと判断し、後援は
できない、という回答でした。



「ぞうれっしやがやってきた」を歌うこどもたち

9月議

根本みはる市議の一般質問その③

国保税の引き下げと減免の拡充

国民健康保険は、加入世帯に高齢者の割合が高く、所得に対する保険税の割合は、全国平均で9.6%で、被用者保険の協会けんぽ7.2%、健保組合5.7%、共済組合5.6%と比べても、2倍近くとなっています。

全国知事会の「国民健康保険への公費支援を一兆円に増額し、高過ぎる保険料（税）を引き下げることに関する請願」の要旨では「国保料（税）には家族人数に応じて負担が増える均等割があり、子育て世帯などでは、国保と協会けんぽの保険料の格差は2倍に広がる。こうした問題を解決するために、全国知事会、全国市長会、全国町村会などの地方団体は、『一兆円の公費投入』など、国の財政支援により国保料（税）を協会けんぽの保険料並みに引き下げることとを求めている。高過ぎる国保料（税）を引き下げ、格差を解消することは、国民の暮らしと健康を守り、国保制度の健全な運営と医療保険制度安定のためにも不可欠である。』としています。本市の国

保税も、税率改定により加入者負担が増えて続けています。

（1）国保の状況

Q 被保険者が支払う保険税について、令和6年度の加入者1人当たりの平均保険税は

A 1人当たりの平均保険税額は、11万5300円。前年度より7000円増額です。

Q 県納付金の加入者1人当たりの増額は。

A R4年度…9444円増額
R5年度…14241円増額
R6年度…8207円増額

3年間で 31,892円も納付金が増えています。

根本意見

2018年度から、県は市町村とともに国保の保険者となつて、財政運営の責任を担っており、県の一般会計から国保会計への繰り入れで、納付金の1人当たり3万円の引き下げとなるよう、県に働きかけていたきたい。

Q 令和6年度の加入者1人当たりの法定外繰入額は。

A 26,047円。

Q 加入者1人当たりの繰越金と基金の合計は。

A 42280円。

（2）減免制度の拡充を国保には、減免制度が設けられ加入者からの申請により該当すれば、減免されます。

Q 減免となった件数は。

A R4年度…1,027件
R5年度…1,070件
R6年度…1,077件

愛知県内には、減免の対象を「所得の減少要件3分の2以下」にしている自治体や、申請の必要がなく、均等割の独自控除をおこなっている名古屋市のよう事例もありま

す。

Q 子どもの均等割の半額軽減の対象を18歳までに拡充する考えは。

A 現在、保険税水準の県内統一が進められているところであり、今後は、給付や減免などのサービスについても、受益と負担の公平性の観点から、平準化が図られていく見込み。

・このため、本市独自で対象を拡充することは考えていませんが、国の責任と負担において、18歳までの全ての子どもを対象とするよう、国への要望を行っている。

根本意見

負担能力の無い子ども均等割は廃止すべき。

（3）マイナ保険証と各種証明書

国は効率化を押し出し、マイナ保険証への一体化と2024年秋に保険証の廃止を発表しました。紙の保険証の新規発行は終了しましたが、経過措置として最大1年間、紙の保険証の利用は可能とされ、期限が迫る中で、資格確認書が発行されました。

マイナ保険証をお持ちの方には「資格情報のお知らせ」が届きます。「顔認証付きカードリーダー」の不具合などの何

らかの事情で、医療機関の窓口でのマイナ保険証による受付がうまくいかなかったときに、マイナンバーカードとともに提示することでスムーズに保険診療を受けることができます」と、これはデジタル庁がHPで説明しています。

紙の保険証については、有効期限が切れている保険証への対応など、窓口への問い合わせも相次ぎ、被保険者への丁寧な説明、周知が必要と考えます。

Q 国および本市の対応は。

A 国は令和7年6月27日、事務連絡として発出している。これは、有効期限が切れた健康保険証を気が付かずに医療機関等へ持参してしまうなどの患者に対し、10割の負担を求めるのではなく、オンライン資格確認システムにて資格情報を照会するなどした上で、3割等の一定の負担割合で受診することを、制度移行期の運用として暫定的に対応する趣旨のもの。

・本市においては、医療機関等から問い合わせがあった場合に適切な対応ができるよう、関係の所属で当該事務連絡の内容を共有し、現に対応を行っているところ。

19日行動 差別と分断許さない
9月19日(金)
午後6時～6時30分
豊田市駅西マック前広場
主催：憲法9条改憲ノ一豊田市民アクション